

平成29年度「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」  
読書活動支援者育成事業

## 第2回 会津地区研修会

会津教育事務所

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援もできる人材を育成する。
- 日時：平成29年9月19日（火）10：50～16：00
- 場所：会津大学 中講義室
- 参加者：63名

### 分科会A 【読み聞かせボランティア】

実践発表 「まつお文庫」主宰

松尾 福子 氏

#### 1 文庫活動紹介

- 設立 1977年
- 場所 松尾氏自宅
- 活動日 週2回（水・土）
- 蔵書数 8,457冊
- 登録者数 51人（0才～70代）
- 1日の利用者 15人前後
- 活動内容
  - ・本の貸し出し
  - ・お話し会
  - ・伝承遊び
  - ・文庫だより、文集の発行
  - ・クリスマス会、映画会、ミニコンサート
  - ・大人向け勉強会 等

#### 2 読み聞かせの実践例



- 詩・・・言葉のリズム、繰り返しのおもしろさを味わう
- 手遊び・・・子どもたちが夢中になりますよ！
- わらべうた・・・数え歌が楽しいですよ！

#### 【参加者の声】

- 物語だけでなく、詩、なぜなぜ、わらべうた、手遊び等、豊富な読み聞かせを楽しむことができました。
- 言葉遊びのおもしろさ、耳で言葉のリズムを楽しむこと、たくさんの本の紹介、とても良かったです。

## 分科会B 【学校司書・図書館司書等】

「実践発表 郡山市立緑ヶ丘第一小学校学校司書 岡田 友美 氏

### ◆学校の教育課程や教科書に目を通しましょう！

- 学校行事や授業との連携
- 調べ学習への対応
- 関連本の準備



### ◆選書のポイント

- 学校の教育課程や教科書
- 子どもたちとの会話やニュースから
- 多様な選書の方法  
(カタログ、チラシ、WEB、展示会、研修会等)



### 【参加者の声】

- 図書の選書の仕方がとても参考になりました。
- 学校との具体的ななかかわりを知ることができて参考になりました。
- 他地域の小学校図書室の現状、実態を知ることができる良い機会でした。

## 【 講話・演習 】

「心ふれあう読み聞かせの意義とその技術」

講師 田村市図書館長 宮崎 亜古 氏



### ◆読書・読み聞かせの意義

- 日本語を身に付ける
- 普段使わない言葉も読書の中で使うことができる
- 聞く力、想像力、共感、疑似体験、解放感、スリルなど大事なことを子どもたちは受け取っている
- ちがう自分への気づき
- 昔話の中の様々な生き方から「生きるスキル」を学ぶ など

## ○ワークショップ ～選んだ本についてグループで分析しよう！～



- 何歳くらいの子に聞かせたい？ 幼稚園？ 小学校？
- どんな時に読もうかな？ ぴったりの季節は？ 春かな？
- この絵本のテーマは何だろう？ 愛？ 勇気？ スリル？
- どんな読み方がいいかな？



春に読ませてあげたい本です。  
子どもたちと一緒に読んで読んだら  
楽しいと思います。



台詞が楽しいのでユーモアたっぷりに  
読みたいです。  
思いやりの心も伝わるので、  
ぜひ子どもたちに読んであげたいです。

- 読み方は「淡々と」でなくてもよい。  
声色が変わっても場面に合っていれば良い。
- 文章はそのまま読むこと。  
難しい言葉でも変えてはいけない。
- 本について書評を読んだり仲間と語り合ったりして  
新たな視点を学ぶ。



### 【参加者の声】

- 絵本のワークショップはよかったです。同じ本をみんなで読むと感じ方がちがうのでとても新鮮でした。
- 一冊の本について、こんなにいろいろな方と話し合う機会がなかったので、いい体験になりました。
- 話を聞いて、ますます読み聞かせが好きになり、これからも続けていきたいと  
思います。